

ちんこきょうだいの

いわての

とってまき!



魅力わんこ盛りのいわてから、いいもの、面白いものを選びすぎり。毎回わんこきょうだいがナビゲートします。

今月のテーマ

[県×JAL(日本航空)×浄法寺漆産業] 共同開発

浄法寺漆を使った漆器

JALがいわての漆を応援!



いわては日本一の漆産地だけど、国内で使われる98%は外国産。国産漆を守りその魅力を発信していくために、JALと盛岡市の(株)浄法寺漆産業が連携して新たな取り組みを始めたんだ。



漆器の保温性の高さに着目!

浄法寺漆を使って開発したのは、人間国宝・室瀬和美氏が監修した飯椀と汁碗のセットと、片口と盃のセット。特に漆塗のお椀は冷めにくいから、ご飯を食べるのにも最適だよ。

漆の魅力をもっと多くの人に!



試行錯誤を重ねて開発した漆器は、JALグループの機内誌などで販売され大好評! 今年にはさらに新たな商品開発や漆の植樹なども始まるんだって。この連携をきっかけに、いわての漆器ファンがもっと増えるといいね。

使うほどに増す
自然な豊^っが魅力。
みんなも使ってね!



©わんこきょうだい



※画像提供:(株)JALUX

写真右:重要無形文化財保持者(時絵・人間国宝)・室瀬和美氏が監修した「JALオリジナル巖手椀セット」。写真左:注ぎやすく、入れ子状にデザインした「JALオリジナル片口と盃セット」。

今月の表紙

高村和人さん・藤田佑平さん



2018年平昌冬季パラリンピックでクロスカントリースキーとバイアスロンの2競技、4種目に出場。二人で、平成29年度岩手県スポーツ賞を受賞。

不思議と雑念はなかった。ガイドを信じきろう。そう思って高村和人選手は、先導する藤田佑平ガイドの声に集中した。前へ前へ、ひたすら前へ…。平昌冬季パラリンピックのクロスカントリースキー男子クラシカル10km。高村選手は本大会自己最高の11位でゴールし、今までで一番いい滑りができたと達成感をにじませました。視覚障がいを持つ高村選手が、クロスカントリースキーを始めたのは7年前。完全に視界を遮断して滑るため危険と隣り合わせですが、視覚障がい者たちに「挑

戦する大切さを伝えたい」と励んできました。平昌への出場を意識し始めた時、専属ガイドとして紹介されたのが、競技経験者でコーチ志望の藤田佑平さん。二人は2015年にコンビを組み、互いの滞在先を行き来しながら練習を重ね、信頼関係を築いていきました。「ガイドで学んだ全てが、成長の糧になりました。今はまだスタートライン。もっとできることがあると思う」と藤田さん。「視覚障がい者もサポートする人がいればスポーツができる。僕らを見て、一歩踏み出す人が増えてくれたら」と高村さんは期待を込めます。今、世界で活躍できるのは、高村・藤田コンビしかない視覚障がい者とガイドスキーヤー。二人の姿は、お互いを信頼し、支え合うことの大切さを教えてくれます。